

症例報告 2

要旨

ストーマ周囲の皮膚の合併症の発生率は高く、ストーマ造設患者の半数以上が生涯のうちにストーマ周囲の皮膚の問題を経験しています¹。合併症の種類、原因、それらの治療方法は、それぞれ大きく異なります。医療従事者は、ストーマ周囲の皮膚の合併症の管理に多くの時間と労力を費やしています。患者にとって、ストーマ周囲の皮膚の痛みは、生活の質に大きな影響を与えかねません。ストーマ周囲の皮膚の合併症は、ストーマ造設後の最も一般的な術後合併症です²。この症例報告で、そのような症例の1つをご報告します。

目的

患者に適した面板を選択し、ストーマ周囲に面板が適切に密着することで、ストーマ周囲の皮膚の異常を改善させ、健康な状態を維持すること。

背景

患者は 49 歳女性で、単孔式回腸ストーマ造設を伴う結腸全摘術と直腸切除術を受けました。

患者の概要

患者は最初に面板から便漏れが発生した後、単品系軟性凸面装具を使用することで漏れを解決し、漏れない状態を維持しました。苦しく精神的につらい時期を経たのち、1 日おきに交換することが可能となり、自信を持って社会活動を再開できるようになりました。

問題

年 1 回の診察を初めて受けたとき、彼女はストーマ周囲の皮膚の所々に痛みとかゆみがあると訴えました (写真 1)。彼女の装具交換方法を確認したところ、すべて正しく行われていました。彼女はクリニックで診察を受け、感染の可能性を除外するため、綿棒で皮膚を採取して細菌の検査をしました。これは陰性でした。炎症を起こしていた部分はステロイド治療が効果を示しましたが、治療を中止するとすぐに再発しました。彼女はイライラして不快感を感じ始め、気分が落ち込み、家族や友人から孤立し始めました。粘着剤に過敏になっている可能性を考慮して、別のストーマ装具を試しました。しかし、これらのストーマ装具はどれも炎症に効果がなく、患者はそれらが頻繁に漏れると感じました。患者は他の装具を試すたびに、元々使用していた安心できる単品系軟性凸面装具に戻りました。

ケアの実際

患者は過去に軟性凸面装具で漏れを経験していたため、二品系硬性凸面型装具「ニューイメージ セラプラス 凸面」を選択しました。二品系装具を使用することで、面板は 3 日ごと、採便袋は毎日交換できるようになりました。2 週間で、ストーマ周囲の皮膚は有意な改善を示し、さらに彼女から痛みとかゆみから解放されたという報告がありました (写真 2)。

裏に続く



写真 1 炎症を起こしているストーマ周囲の皮膚。



写真 2 2 週間後に改善が見られたストーマ周囲の皮膚。

セラプラス™

*リモイス技術使用

寄稿者および略歴

Ann Goodey RGN Dip He BSc
ストーマケア専門臨床看護師

Hollister Limited

症例報告 2

結果

二品系硬性凸面型装具「ニューイメージ セラプラス 凸面」を試す前、この患者は、ストーマに関する様々な問題を抱えていたため、失望し、ステロイド治療を受け続けるか、炎症を我慢するかしかなと感じていました。装具を変更してから、炎症は再発せず、患者の不安は非常に軽くなりました。患者は徐々に自信を取り戻し、社会活動を再開することができました。

結論

ストーマ患者の多くは、ストーマ周囲皮膚障害を経験し、ストーマを造設したら仕方のないこととしてそれらの問題を受け入れています³。幸いにも、この患者は助けを求め、問題は解決しました。皮膚刺激を軽減する手段として、面板がストーマの周囲に適切に密着し、漏れを防ぐことが重要です。面板の配合成分は、ストーマ周囲の皮膚の健康状態にも影響を及ぼします。面板の配合成分と密着性の適切な組み合わせを見つけることは、ストーマ周囲の皮膚を健康な状態に維持するために不可欠です。

引用情報:

1. Richbourg L, Thorpe J, Rapp C. *Difficulties experienced by the ostomate after hospital discharge.* J Wound Ostomy Continence Nurs. 2007; 34(1):70.
2. Meisner S, Lehur P-A, Moran B, Martins L, Jemec GBE. *Peristomal Skin Complications Are Common, Expensive, and Difficult to Manage: A Population Based Cost Modeling Study.* PLoS ONE. 2012; 7(5):e37813.
3. Whiteley IA and Sinclair G A *Review of Peristomal Skin Complications Following the Formation of an Ileostomy, Colectomy or Ileal Conduit.* World council of Enterostomal Therapists Journal, 2010; 30(3) p. 23-29.

この症例報告は、特定の患者に「ニューイメージ セラプラス 凸面」を使用した場合の一人の看護師の経験を示すものであり、全ての症例に適応できるとは限りません。



*リモイスはアルケア株式会社が所有する技術です。

Remois

使用する前に、使用目的、禁忌、警告、注意事項、および使用方法について使用説明書を必ずお読みください。



すべての製品にCEマークが付いているわけではありません。

Hollister のロゴおよびセラプラスはホルスター社の商標です。その他すべての商標および著作権は、それぞれの所有者に帰属します。© 2016 Hollister Incorporated



Hollister Incorporated
2000 Hollister Drive
Libertyville, Illinois 60048 USA
1.800.323.4060

www.hollister.com